

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

例会会報

第2330回

平成18年9月12日(火) 晴(本年度 第11回)

会長報告

丸山隆志

- 9/5：青少年交換留学生4C共同受入れ担当者会議
歓迎会：9/25 鶴岡クラブ訪問：9/19
ホストファミリーオリエンテーション：11月頃
9/6：第37回鶴岡田川地区小中高校児童生徒考
案創作展審査会
9/7：平成18年度田川地区中学校・高等学校英
語弁論大会
9/8：第2ブロックGSE受入れ対応会議
9/10：第37回鶴岡田川地区小中高校児童生徒考
案創作展表彰式 鶴岡市中央公民館

* * *

今年度RIテーマ「LEAD THE WAY (率先しよう)」
のロゴマークについて説明します。

このロゴは、ロータリーのリーダーシップと奉仕
があらゆる方向に行き渡ることを表しています。沢
山の色を使って、地域社会において、また世界にお
いてロータリーの多様なリーダーシップの役割を表
しています。その色とは、ニュージーランドのバウ
ア貝(あわびの一種)のオーシャングリーンとダーク
ブルー、ロータリーの色である金色と青色(ロイヤル
ブルー)、自然と成長を象徴する緑色、思いやり(温かさ)
を表すオレンジ色、紫色は他者を激励する色だそう
です。

我が人生

新入会員スピーチ

牧 衛

今年度からお世話になることにな
りました NEC山形の牧です。

牧という苗字は私の住んでいる
旧藤島町では1軒しかありません。
藤沢周平原作の蝉しぐれの主人公
が牧文四郎ということで、「牧文四郎は祖先ですか」
と何回か聞かれましたが、残念ながら関係なさそう
です。



私は昭和28年生まれで、高専を卒業するまで藤
島で過ごしていました。高専卒業後、NECの横浜
事業場に入社、今から25年前ですが、コードレス
電話の設計や携帯電話の開発を行っていました。新
製品の開発業務は面白く、そのまま横浜にいる予
定でしたが、長男ということで故郷へ戻り、昭和53
年に山形NECに入社し現在に至っています。

NEC山形の鶴岡工場も、入社したときは300人
ぐらいの工場でしたが、工場の拡張や本社移転など
で、現在は正社員が1,500名、派遣社員を加える
と2,000名が働いています。NECの中でも最先端
の工場なので、本社や九州工場などから来ている人
が多数います。せっかく鶴岡に来たのだから、鶴岡
の良さを知ってもらい、いいところだと思って帰っ
ていただければと思っています。

現在は両親が他界し、2人の息子は大学生で東京
に住んでおり、妻と二人暮らしです。このロータリー
の中には、私の妻がお世話になった方もおります。
RCを通して少しでも地域に貢献できればと思いま
す。今後とも、よろしくお願い致します。

第8回日韓親善会議の報告

藤川享胤

7日から9日まで、日韓親善会議ということでソ
ウルに行って参りました。韓国の人々は日本に対し
て、政治的な面ではご承知の通りかと思いますが、
人々の感情的な部分もやはり少ししこりがあるな
と感じました。もちろん戦争を通してというのが非
常に大きいですが、もう一つは戦後、経済が非常に
よくなったときの日本の旅行者の態度が、韓国人民
を大変傷つけたようです。それからもう一点。韓国
の子ども達は大変だということです。中国は一人っ
子政策、これは政策ですが、韓国は一人しか育てら
れないのです。どうしてかという、有名な高校は
朝7時から夜9時まで学校、それが終わって10時
から2時頃まで塾だといいます。そうしないと超一

流の学校に入れない、小中学校もそれに順ずるそうです。その一ヶ月の塾代が15万～20万(日本円)、当然子どもは一人しか育てられない。そしてその子どもは一人っ子で甘やかされて育ちます。それでも男の子は心配がいらなそうす。なぜか。徴兵制度があるからです。兵隊に入ると大変厳しく、初めて一週間に一回帰宅を許された時に、甘やかされて育った子どもが、玄関で『忠誠!』と言うんだそうです。「ママ」と言っていたのが、「お母様ただいま帰りました!」と。母親は見事に育ってくれたとみんな泣くそうです。ほんの少し国家が出すお小遣いを、全て貯めて、両親へお土産にするそうです。この徴兵制度があるために韓国の男の子の親は安心して甘やかし放題にするそうです。

今回の会議の目玉、李御寧(リ・オンネイ)さんの記念講演「じゃんけんぽん」は、私が最近聞いたお話の中では一番感動しました。

日本の文化で韓国が今も使っているものが2つあるそうです。一つは「じゃんけんぽん」、もう一つは「花札」だそうです。

韓国の地で日本と物事をするときには、『韓日』と書きますが、李御寧さんが「韓日第8回親善会議」という題名をみて、「なんと増長慢なのでしょうか、韓国は。」「せっかく遠い日本から来て頂いているのに、その「日」をなぜ最初にしない」。これはワールドカップでも非常に問題になったそうです。先生はこう言います。『「じゃんけんぽん」も最初に出したほうが負ける、後から出した方が利口なのだ。』そして、『「パー」は風呂敷、「グー」に勝つのではなく包むのです。グーを包むパーが持っているのは、「仁」と「徳」。だからあの堅いグーを包むことができるのです。韓国は日本と中国の狭間にあり、日本と中国はアジアの覇権を狙っています。でもここにこの韓国がいなければ、日・韓・中は仲良くできないのです。それはじゃんけんぽんと一緒です。グーをしっかりと包み込む「仁」と「徳」、そしてその「パー」も「チョキ」によって負けるのではなく、いくつもの風呂敷に分けることができるという風に考えてみて下さい。それによって、日・中・韓が仲良くでき、世界に進むことができるのではないのでしょうか。今はコンペティション(競争)だけでは勝てない、同じ韓国の人とこうオペレーションをしなければ、太刀打ちができないという事を我々は思わなければいけない。感覚、思いの根底は「じゃんけんぽん」だ』と、こう言うておりました。

実は「じゃんけんぽん」という本は、日本語で書いて、日本でも売っているのだそうです。私も注文

しようと思います。大変感動的なお話でした。この日韓親善会議、来年は日本の青森で開催されます。どうぞ皆さんもご参加できたら、日韓の皆さんと交流をして頂きたいと思います。

海岸清掃について

日 時 平成 18 年 10 月 1 日 (日)
場 所 香頭ヶ浜 (由良トンネルを越えたところ)
時 間 午前 10 時～午後 1 時
登録料 会員：500 円 (当日持参して下さい)
ご家族・RAC・IAC は無料
昼 食 海岸清掃終了後、芋煮をします
持ち物 軍手 (各自持参して下さい)
○各自自動車乗り合せてお願いします。小雨決行。
雨天の場合は他の場所で芋煮会のみ開催します。
参加者はメイクアップ扱いです。

※出欠を 9/26 例会終了後までお知らせ願います。

委員会報告

出席委員会

委員長 迎 田 健

本日の出席		前々回の出席	
会 員 数	47 人	出 席 率	72.73%
出 席 数	27 人	修正出席数	34 人
出 席 率	61.36%	確定出席率	77.27%

●メイクアップされた方

藤川享胤君・秦 幸助君・丸山隆志君
大塚勝夫君・富田喜美子君

○年間皆出席

200% 藤川享胤君・丸山隆志君・秦 幸助君
175% 越智茂昭君
150% 塚原初男君・佐藤孝子君・富田喜美子君
125% 阿部純次君・本間喜美子君・加藤 功君
嶺岸禮三君・真島吉也君・佐々木喆彦君
北川米三君
100% 阿蘇司朗君・足立篤司君・佐藤友行君
富樫松夫君・樋渡美智子君・石田 雄君
本間昭吉君・上野欣一君・加藤恒介君
若生恒吉君・白幡憲一郎君・桜井 隆君
松浦 覚君



佐藤孝子君 藤川 PG 御苦労様でした。月信に新世代の記事のっています。ご覧下さい。

丸山隆志君 藤川さん感動的なお話をありがとうございました。